

指針に基づく情報公開

放射線影響研究所では、個人情報保護法に基づく研究倫理指針を遵守し、この研究については、対象となる方のお一人ずつに直接説明を行い同意を得る代わりに、情報を公開することにより試料・情報を利用させていただいています。

研究成果は学会や学術誌等で発表されますが、お名前、ご住所などの情報が公表されることはありません。

ご自身または代諾者等が、試料・情報をこの研究に使用してほしくないと思われる場合、研究計画の概要をご覧になりたい場合、その他研究に関することは「問い合わせ先」へご照会ください。ご照会された場合でも、なんら不利益を受けることはありません。

研究計画書番号	RP1-18
研究課題名	平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業「東京電力福島第一原発作業員の甲状腺の調査等に関する研究」の情報移管に係る計画書(RP6-15「東電福島第一原発緊急作業従事者に対する疫学的研究」の補遺)
研究責任者(所属)	大久保利晃(放射線影響研究所)
試料・情報の利用目的及び利用方法	<p>利用目的:平成 26 年 1~3 月に、平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業研究班(大阪大学、自治医科大学他)により「東京電力福島第一原発作業員の甲状腺の調査等に関する研究」として、原発事故に伴う緊急作業に関わられた方および緊急作業には携わられなかった東京電力とその協力会社の社員の方を対象に、甲状腺超音波検査を実施し、結果を比較することで、放射線ばく露による甲状腺への影響を調べました。その後より幅広い研究として、平成 26 年 1~3 月の研究に参加頂いた方を対象に含む、「東電福島第一原発緊急作業従事者に対する疫学的研究(統括研究機関放射線影響研究所)」が組織され、研究が継承されています。そこで、平成 26 年 1~3 月の研究で得られた貴重なデータを「東電福島第一原発緊急作業従事者に対する疫学的研究」に移管し、今後の放射線被ばくの甲状腺への影響の検討に用いることを目的としています。</p> <p>利用方法:平成 26 年 1~3 月に甲状腺超音波検査を受けられた 2,064 名から、既に甲状腺に関する情報の研究での利用を拒否された方を除き、自治医科大学から放射線影響研究所への情報提供について拒否の意思を示していない方の情報を、現在情報を保有している自治医科大学から放射線影響研究所へ移管します。移管された情報は、施錠可能な部屋の施錠可能な保管庫の中に収納し、厳重に管理します。</p>
他の機関への提供の有無	<input type="checkbox"/> 有(提供先機関:) <input checked="" type="checkbox"/> 無
利用し、又は提供する試料・情報の項目	利用する情報 自治医科大学が保有する情報:氏名、中央登録番号、甲状腺超音波検査調

	査票、甲状腺超音波検査結果記入書（報告書）、甲状腺検査結果
利用する者の範囲	提供する研究組織：自治医科大学 谷口信行 提供を受ける研究組織：放射線影響研究所 大久保利晃 喜多村絃子
試料・情報の管理に責任を有する者の氏名又は名称	大久保利晃（放射線影響研究所）
統括個人情報保護管理者	放射線影響研究所 業務執行理事 児玉和紀
問い合わせ先	研究担当者 氏名：喜多村絃子 公益財団法人 放射線影響研究所 臨床研究部 緊急作業従事者健康調査室 住所：広島市南区比治山公園 5 番 2 号 電話：082-261-3131